
人型携帯電話 役人タイプ

会津遊一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人型携帯電話 役人タイプ

【Nコード】

N0257BA

【作者名】

会津遊一

【あらすじ】

未来から、人型の携帯電話が訪ねてきた。

呼び鈴が鳴ったので私がドアを開けると、そこには見知らぬ男が立っていた。

「誰だ？」

「私は未来からやってきた、人型携帯電話、役人タイプです。特に高性能というワケではありません。ただ、国からの支援金を元に開発されましたので、信用度の高い物が作れたと自負しております」
「ほう」

「他のメーカーさんのように目新しいだけの機能を増やさず、お客様の事を第一に考えられました。ですから、どんな人でも安心してお手にできると思います」

「……それで、値段は？」

「……おっと、そこですか。そこは何と言いましょうか、はい。物作りの国、日本といえど、全ての要望には応えられませんというか」
「つまり、何なんですか？ ハッキリ言ってくださいよ」

「少々、お高くなつてしましまして……」

「具体的にいくら？」

「いやいや、想定範囲内ですよ。市場平均の3倍程度です」

「……なんで、そんな高くなったのさ」

「そこは安全性を優先して、検査を繰り返したと言いますか……」

「検査ぐらいじゃ値段が3倍にはならないでしょ。どんな検査したの？」

「ええーと、まず携帯の性能委員会を設立し、性能について議論する場所を作りました。ただ、1つの所から意見を聞いていたのでは偏ってしまいますので、加えて4つ団体を作りました。その上、公平な判断が出来るように性能調査の会を設立し、結論に隠蔽がないよう性能検査委員会の検査委員会を……」

「ただ、役人が天下り先を増やしてるだけじゃねーかつ！」

と言って、私はドアを閉じたのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0257ba/>

人型携帯電話 役人タイプ

2011年12月31日16時51分発行